

番号	提出された意見の概要（要旨）	意見に対する考え方	意見の採択により改正した箇所の有・無	改正箇所	
				改正前	改正後
1	群馬県容器包装廃棄物分別収集促進計画の策定は10回目となるが、計画（案）に対する意見募集があることを初めて知った。周知が不足している。	御意見は、今後の参考にさせていただきます。	無	-	-
2	計画（案）が22ページあることは無駄であり、仮に紙に印刷したら、ごみが増える原因となる。	御意見は、今後の参考にさせていただきます。	無	-	-
3	学校での環境教育等は重要であり、群馬県内の全ての学校で3年に一度は行った方がよい。保育園・幼稚園でも行えば、より効果があると思われる。	御意見は、今後の参考にさせていただきます。	無	-	-
4	市が設置しているペットボトル等の回収機のポイントが、以前は1本1円であったが、今は1本1円にならない。これではペットボトル等のポイ捨てを減らすことはできない。回収機が故障していることが多く、満杯で利用できないことも多い。	御意見は、市に提供させていただきます。	無	-	-
5	廃棄物の不法投棄には厳しい罰則があるが、不法投棄は犯罪という意識を持っている者が少ない。ごみのポイ捨ては犯罪の始まりという意識を持ってほしい。また、その延長に「捨てればごみ、分ければ資源」の分別の意識も生まれる。	御意見は、今後の参考にさせていただきます。	無	-	-
6	「ぐんま5つのゼロ宣言」（宣言4 プラスチックごみ「ゼロ」）は、5つの宣言の中でも、かなり難しい課題であり、実現には、きめ細やかな対策が必要と思われる。群馬県容器包装廃棄物分別収集促進計画は、5年を1期として3年毎に策定しているが、3年を1期として1年毎に策定するくらいの気持ちでやらないと実現できないような気がする。	御意見は、今後の参考にさせていただきます。	無		
7	また、計画（案）中の、各種広報媒体や環境教育・学習による普及啓発、リユース食器の利用促進、市町村相互間の分別収集に関する情報交換、市町村によるプラスチックごみの一括回収の促進等、県民の意識改革をあらゆる手段を使ってPRし、プラスチックごみ「ゼロ」の実現に向けて、プラスチックごみ問題の深刻さをアピールすべきである。	御意見は、今後の参考にさせていただきます。	無	-	-